

経営比較分析表（令和3年度決算）

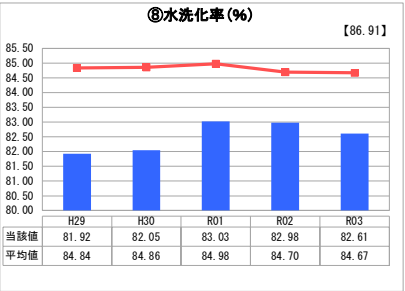
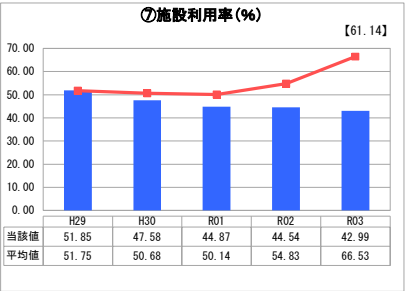
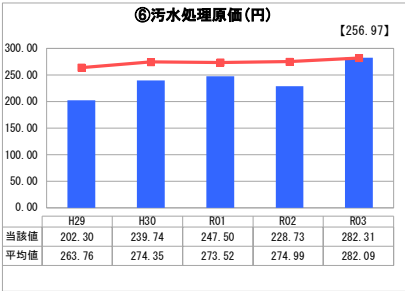
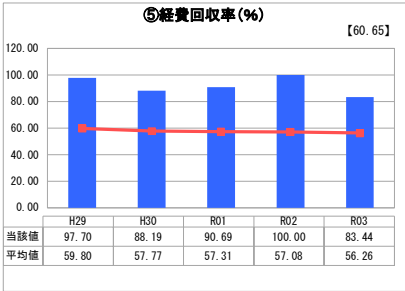
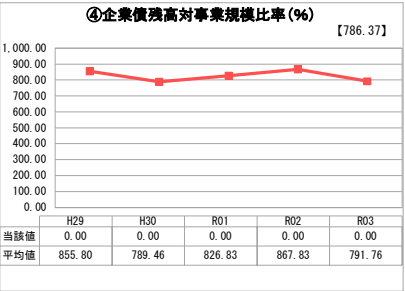
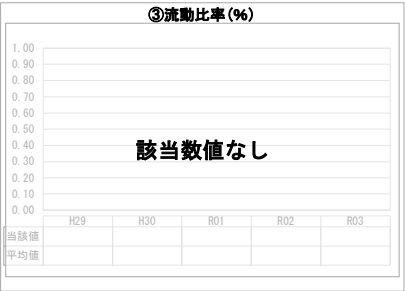
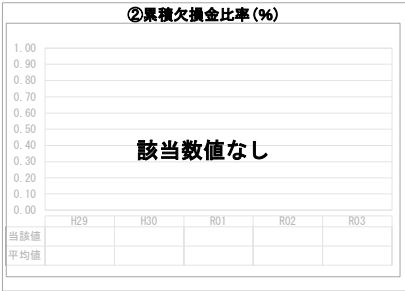
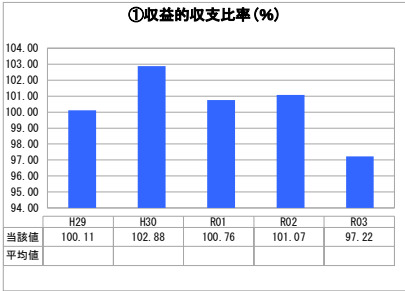
福島県 平田村

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	32.44	100.00	4,400

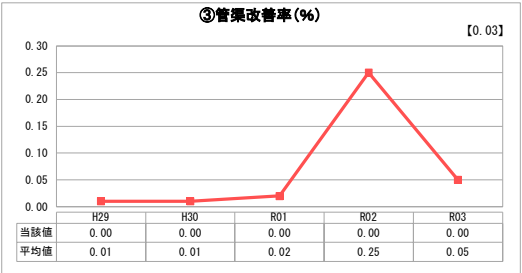
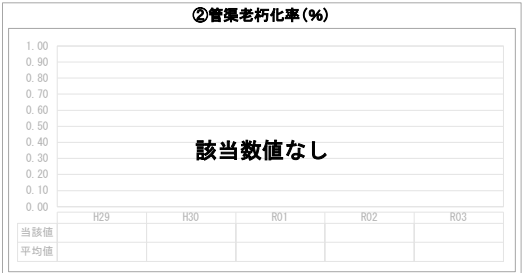
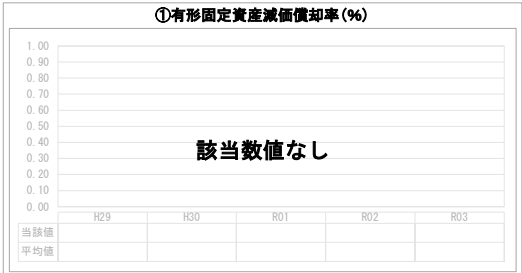
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,754	93.42	61.59
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,846	2.17	850.69

グラフ凡例
■ 当該団体値（当該値）
— 類似団体平均値（平均値）
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益の収支比率について、前年度比で3.85%減少した。以前として、一般会計繰入金に依存する状況が続いているため、料金改定など料金収入での財源確保に取り組む必要がある。

④企業債残高対事業規模比率について、現在投資事業を行っていないため、年々減少している。供用開始20年を経過する施設があり、今後施設の長寿命化、機能強化を進めて行く必要があることから、多額の支出が見込まれるため、今後の比率は増加となると思われる。

⑤経費回収率について、類似団体平均値を超えている。しかし、100%を下回っており、今後の施設更新等の投資を考えると、更なる財源確保が必要となるため、料金改定などを検討する必要がある。

⑥汚水処理原価について、類似団体平均値より低く、適正であると思われる。今後更に効率的な汚水処理を実施するにあたって有収水量、収入料金増加のために接続率の向上を図る。

⑦施設利用率について、人口減少、処理数量減少から使用率も若干低下しているが、今後未加入世帯の継続を考えると適正だと思われる。

⑧水洗化率について、昨年とほぼ同等であるが、更なる向上のため、加入促進を図る。

2. 老朽化の状況について

管渠改善率について、現在は管渠の更新をしていないが、供用開始20年を経過する施設もあるため、策定した最適化構想を基に、計画的な更新を行っていく必要がある。

全体総括

管渠改善率について、現在は管渠の更新をしていないが、供用開始20年を経過する施設もあるため、策定した最適化構想を基に、計画的な更新を行っていく必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。